

NGO 神戸外国人救援ネット・ニュースNo.74

NGO Network for Foreigners' Assistance KOBE NEWS No.74



発行／特定非営利活動法人 NGO 神戸外国人救援ネット(理事長／飛田雄一)

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 1-28-7 TEL&FAX:078-271-3270

ホットライン専用 TEL:078-232-1290

E-mail: gqnet@poppy.ocn.ne.jp * <https://gqnet.jp/>

郵便振替<01100-2-60701 NGO 神戸外国人救援ネット>

★ 巻頭言★

取り残される特定技能「介護」

坂西卓郎 (PHD 協会)

介護だけ2号が新設されない

5月23日、自民党外国人労働者等特別委員会と雇用問題調査会、法務部会が「特定技能2号」を現在の2分野から11分野へ拡大する案を了承し、政府は6月にも閣議決定する方針と新聞各社が報じた。

多くの分野で1号から2号に移行する道が拓け、定住への道が拡大し、家族の帯同が認められたことは人権上望ましいことと思われる。他方、「介護」だけ2号が新設されなかった。毎日新聞によれば「介護は別制度で同様の待遇が認められている」と指摘されており、一見他の特定技能13分野と同列であるように思われる。

「特定技能介護2号」と「介護」の難易度は同じか？EPAを事例に

しかし、その中身である在留資格「介護」は基本的に国家資格である介護福祉士を取得することが条件とされている。特定技能1号から2号に移行する際も「より難しい技能試験」の合格が必要になるが、日本人も受ける国家試験とはその難易度が違う。

参考としてEPA(経済連携協定)による介護福祉士国家試験合格率は、2021年46.2%、2022年36.9%、2023年65.4%である。合格率は伸びているが、その中身はベトナム国籍の受験者の合格率が約90%と全体を押し上げている。ベトナムの場合、母国にて一年間の日本語研修、及び来日前のN3取得が必須となっている。加えて「ベトナム国内における3年制または4年制の看護課程を修了した者」という要件がある。これらはインドネシア、フィリピンとは違いがある。それらの結果、インドネシアやフィリピンは30~60%の

合格率に留まっている。

そもそもEPAにはJICWELS(公益社団法人国際厚生事業団)のサポートが必須で、来日後約2.5~6ヶ月の日本語研修がある。就労後も就業時間内に週数時間の勉強時間を確保するという充実したサポート体制がある。

特定技能の場合は就業時間内での勉強時間の確保は必須ではないので、各事業所の判断に任されている。PHD協会も登録支援機関として介護事業所から委託を受けて特定技能介護の支援計画を実施しているが、これらの状況に理解のある事業所は少ないと感じる。

特定技能「介護」を選ぶ人が激減しないか？

結果として特定技能14分野中、13分野では定住への道が続くが、介護を選んでしまうと5年しか働けないということになりかねない。結果、今までであれば介護を志す外国人労働者も将来を見据えて別の職種を選ぶ、ということが生じないだろうか。

そもそも特定技能の創設時に入管庁が設定した分野別の受け入れ人数目標は介護が6万人と最大であった。加えて介護業界では人手不足の解消に留まらずに、外国人労働者が持つコミュニケーション能力や年長者を敬う姿勢、意欲的に働く姿勢が介護事業所にWin-Winの関係性をもたらしている事例もある。本稿執筆前日に特定技能介護で就労支援をしたインドネシアの青年も「認知症の人と話すのが好き。介護は自分を成長させてくれる」と意気込んでいた。そういった青年たちが数年後に「介護を選ばなければよかった」とならないような制度設計になることを願う。

草加道常さんの意志を引き継いで、私たちは進みます

NGO神戸外国人救援ネット理事長 飛田雄一

相談員の草加道常さんが、2月21日亡くなりました。突然のことで本当にショックです。草加さんは、長年大阪のRINK（すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク）で活動されていましたが、2008年3月より救援ネットの相談事業拡充のために相談員として加わっていただきました。

私が、最初どこで草加さんと出会ったのか記憶が定かではありません。おそらく1970年代に東大阪の合田牧師らの「密入国韓国人」の支援運動でなかったかと思います。その後も、いろんな場面でいっしょに活動することになります。

草加さんの一番すごいところは、活動のなかで、真にその外国人に寄りそったことです。なかなか真似のできることはありません。多くの相談を同時並行的に解決する能力には、いつも驚いていました。自身のもてるものをすべて使ってものごとに当たっていました。昨年、体調をくずしていることを救援ネットの会議で聞いて心配していましたが、現在の外国人を取り巻く状況が、彼の命を削ったのではないかと悔やまれます。

5月3日、大阪で「草加道常さんの思い出を語る会」が開かれました。そこに参加していた外国人が一様に「草加さんのやさしさ」を話していたのが印象的でした。会の最後に、片付けをしながら、とった写真も記念に掲載します。

草加さんを失った救援ネットの悲しみは癒えません。しかし、私たちは彼の意志を受け継いで、あるべき多文化共生社会を実現するために力をあわせて進んでいきます。



左上 2014年11月 救援ネット主催学習会
 左下 2023年5月 思い出を語る会
 右上 2021年10月 神戸新聞掲載記事

2022 年度 ひょうご多文化共生総合相談センター (週末相談) 事業実施報告

2019 年 4 月 1 日より「ひょうご多文化共生総合相談センター」がスタートしました。月～金 9 時～17 時は(公財)兵庫県国際交流協会外国人県民インフォメーションセンターが、土・日曜日 9 時～17 時は NGO 神戸外国人救援ネットが担当しています。以下に 2022 年度の相談件数をご報告します。

相談件数【週末】 379 件 (※NGO 神戸外国人救援ネットが担当した土曜日・日曜日分)

相談言語【週末】

日本語	スペイン語	タガログ語	英語	ポルトガル語	ベトナム語
117	80	74	66	25	6

中国語	アラビア語	インドネシア語	フランス語	ネパール語	ミャンマー語
4	2	2	1	1	1

相談内容【週末】

出入国	医療	暮らし	婚姻	社会保険	労働	住居	教育	国籍等
115	58	56	48	31	25	23	13	13

就職	交通事故	税金	ボランティア	日本語学習	ビジネス	その他
7	6	5	3	2	2	16

相談件数【全体】 4,264 件 対前年度比 14.1%増 (2021 年度 : 3,737 件)
(※外国人県民インフォメーションセンター + NGO 神戸外国人救援ネット)

相談言語【全体】

スペイン語 1,941 件 (45.5%) (前年度 : 1,672 件、第 1 位)
 日本語 959 件 (22.5%) (前年度 : 565 件、第 3 位)
 ポルトガル語 667 件 (15.6%) (前年度 : 650 件、第 2 位)
 英語 288 件 (6.8%) (前年度 : 412 件、第 4 位)
 中国語 275 件 (6.4%) (前年度 : 312 件、第 5 位)

相談内容【全体】

医療 888 件 (20.8%) (前年度 : 841 件、第 1 位)
 暮らし 874 件 (20.5%) (前年度 : 704 件、第 2 位)
 出入国等 401 件 (9.4%) (前年度 : 336 件、第 4 位)
 社会保障 366 件 (8.6%) (前年度 : 413 件、第 3 位)
 その他 357 件 (8.4%) (前年度 : 89 件、第 10 位)

(兵庫県「2022 年度ひょうご多文化共生総合相談センターの相談状況」

https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20230512_12913.html)



2022 年度 ホットライン事業報告

2022 年度の特筆すべき事情として、ロシアのウクライナ侵攻に伴う日本政府のウクライナ避難民受け入れ支援が挙げられるが、救援ネットにはウクライナ国籍者からの相談が増加するといった影響はなかった。

4 月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による帰国困難者に対する在留資格上の特例措置が順次終了となった。これにより、引き続き在留を希望する相談者からの在留資格変更、在留期間更新についての相談もあった。

相談件数は約 20 件の増加。男女比 1 : 3 に広がり、女性の相談者が多かった。

内容別では、「在留資格」、「家族関係」の上位 2 つは昨年度と同様だったが、「くらし」が昨年度の 7 位から 3 位になった。4 位以下は「住居」、「社会保障」、「医療」と続く。

相談者の国籍は 35 か国にわたり多様化しているが、例年と変わらずフィリピンが多く、次いで、日本、ブラジル、ペルー、中国、となっている。

言語は、タガログ語、日本語、英語が上位であるが、英語は、アフリカ出身者など母語の通訳者がおらず英語で対応するケースも多い。

2022 年 6 月現在での兵庫県の国籍別在留外国人数は、韓国、ベトナム、中国、フィリピン、ネパール、ブラジル、インドネシア、米国の順となっている。ベトナム国籍者の増加に伴い、救援ネットへの相談も徐々に増えつつある。

【新規相談件数】 160 件 【相談者性別】 男性 : 41 名 女性 : 119 名

【相談対応形態】 来所 : 84 件 電話 : 76 件

【国籍別相談者数】

フィリピン	日本	ブラジル	ペルー	中国	ベトナム	ネパール	アメリカ	ウガンダ
61	16	11	9	9	7	6	3	3
カメルーン	タイ	インド	ボリビア	台湾	ナイジェリア	ラトビア	不明	その他
3	3	2	2	2	2	2	1	19

その他 内訳 : 韓国・朝鮮、コロンビア、メキシコ、インドネシア、ミャンマー、バングラディッシュ、イエメン、イラン、ウクライナ、モルドバ、ロシア、ガーナ、コンゴ共和国、セネガル、タンザニア、チュニジア、モロッコ、ジャマイカ、イギリス 各 1 件

【相談内容】

在留資格	家族関係	くらし	住居	社会保障	医療
58	29	24	16	13	11

DV	労働	教育	国籍	その他
9	5	4	2	19

その他 内訳 : 交通事故 4 件、税金 3 件、日本学習 3 件、就職 2 件 ほか

【言語別】

日本語	タガログ語	英語	スペイン語	ポルトガル語
53	47	23	13	10

中国語	ベトナム語	その他
5	5	5

その他 内訳 : インドネシア語、フランス語、ネパール語、ロシア語 各 1 件

2022 年度 同行通訳・同行支援事業実施報告

2022 年度の同行通訳・同行支援事業による同行通訳・同行支援件数は、379 件と 2021 年度より微減しているものの、ほぼ横ばいとなっている。

国籍別では、第 1 位はこれまで同様フィリピンであるが、ベトナムが増加し、中国を抜いて 2 位となった。次いで、中国、ブラジル、ウガンダ、台湾、イラン、ネパール、ブルキナファソ、と続いている。

言語別では、従来から対応してきたタガログ語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語と日本語でほぼカバーできてはいるが、ベトナム語での対応が必要なケースも増えており、また、アラビア語、フランス語、ネパール語での対応も整備する必要がある。

相談内容別では、在留資格、DV、家族関係、医療、住居、社会保障、労働と、順位は 2021 年度とほぼ変わっていない。2022 年度は生活に困窮した相談者からの食糧支援に関する相談が増加した。

同行先は、相談者宅、法律事務所が多く、役所、医療機関、裁判所、入管と続き、毎年同様の傾向となっている。

2022 年 6 月現在での兵庫県の在留資格別在留外国人数は 119,509 人。内、特別永住者が 34,613 人 (29%)、永住者が 26,883 人 (22%)、技能実習が 11,183 人 (9%)、留学が 11,154 人 (9%)、技術・人文知識・国際業務が 8,470 人 (7%) と続いている。2021 年 6 月現在の数値を比較すると、在留外国人数に占める特別永住者と永住者の割合が合計 3%減少している。社会情勢、個人の健康・就労状況により困窮する可能性の大きい、不安定な在留資格で滞在する人の割合が増加していると考えられる。

【同行件数】 379 件 【相談者性別】 男性：140 名 女性：297 名

【国籍別相談者数】

フィリピン	ベトナム	中国	ブラジル	ウガンダ	台湾	イラン	ネパール	ブルキナファソ	タイ	バングラディッシュ	ボリビア	インドネシア	韓国・朝鮮	シリア	ラトビア	日本	ペルー	ガーナ	その他
159	36	31	20	18	18	13	13	13	12	12	10	8	7	6	6	5	5	4	33

その他内訳：ギニア、コロンビア、フランス、リトアニア、ロシア各4、カメルーン、ナイジェリア各3、チュニジア、ルーマニア各2、アフガニスタン、ジャマイカ、タンザニア各1

【同行先】

相談者宅	法律事務所	役所	医療機関	裁判所	入管	不動産会社	他の NGO	児童相談所	母子生活支援施設等	学校・保育所等	警察署	年金事務所	銀行・郵便局	救援ネット	オンライン	その他
93	88	39	38	26	23	12	9	4	3	3	3	2	2	28	12	16

【同行内容】

在留資格	DV	家族関係	医療	住居	社会保障	労働	教育	その他
107	100	82	49	43	40	10	6	41

その他：食料支援 14 件ほか

【言語別】

日本語	タガログ語	英語	中国語	スペイン語	ベトナム語	ポルトガル語	タイ語	インドネシア語	フランス語	アラビア語	ネパール語
135	108	30	30	23	22	17	6	4	3	2	2



NGO神戸外国人救援ネット 2022 年度会計報告

(2022 年 8 月 9 日～2023 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
会費	¥162,000	生活相談事業費	¥4,291,704
寄付金	¥991,588	同行支援事業費	¥1,487,920
助成金・補助金	¥4,600,000	居住支援事業	¥2,353,542
委託費	¥4,921,200	学習会・研修会事業	¥139,306
その他の収益	¥160,021	管理費	¥1,081,508
.....		
<収入小計>	¥10,834,809	<支出小計>	¥9,353,980
		収支差額	¥1,480,829
前年度繰越金	¥1,955,897	2023 年度への繰越し	¥3,436,726
合計	¥12,790,706	合計	¥12,790,706

NGO神戸外国人救援ネット 2023 年度会計予算

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
会費	¥180,000	生活相談事業費	¥7,097,400
寄付金	¥1,500,000	同行支援事業費	¥1,371,000
助成金・補助金	¥5,000,000	居住支援事業	¥2,534,000
委託費	¥6,281,800	学習会・研修会事業	¥106,900
その他の収益	¥200,020	管理費	¥1,622,000
.....		
<収入小計>	¥13,161,820	<支出小計>	¥12,731,300
		収支差額	¥430,520
前年度繰越金	¥3,436,726	2024 年度への繰越し	¥3,867,246
合計	¥16,598,546	合計	¥16,598,546

2023 年度活動計画

- 1 外国人の人権擁護のための多言語で行う相談・支援事業
 - 電話及び面談での多言語での相談及び支援活動を(1)～(4)の通り行う
 - (1) 多言語生活相談ホットラインの実施
 - ①団体としての相談対応(電話・来所)
 - ②ひょうご多文化共生総合センター(兵庫県委託事業)としての相談対応(電話・来所)
 - (2) 兵庫県内各地での移動生活相談会 年数回、実施を予定
 - (3) よりそいホットラインの多言語ラインに協力
 - (4) 入管ウォッチャーズ：多言語による収容者ホットライン
 - (5) 上記以外の相談・支援事業
- 2 外国人の地域での生活を支える事業
 - (1) 相談のフォローアップ、同行支援・同行通訳
 - (2) 兵庫県外国人 DV 被害者自立支援活動事業、神戸市 DV 被害者支援活動
 - (3) 難民申請者の生活支援
 - (4) コロナ禍での生活困窮者等支援
 - (5) 困難な問題を抱える女性への支援
 - (6) 通訳者派遣、翻訳コーディネーター
- 3 外国人の居住支援事業
 - (1) 外国人の住宅セーフティーネット確立のための取り組み
- 4 外国人の人権擁護に関する調査、研究、提言事業
 - (1) 学習会・研修会の実施
 - (2) 報告書、パンフレット等の作成、販売
 - (3) 以下の団体とのネットワーク構築と協力活動
 - ・移住者と連帯する全国ネットワーク
 - ・すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク(RINK)
 - ・ひょうご DV 被害者支援連絡会(HYVIS)
 - ・退去強制手続きと子どもの権利ネットワーク
 - ・人種差別撤廃 NGO ネットワーク
 - ・有償家事労働ネットワーク
 - ・兵庫県在日外国人教育研究協議会
 - ・外国人相談窓口担当者連絡会(GONGO)
 - ・協議離婚問題研究会(リコン・アラート)
 - ・ひょうご働く人の相談室
- 5 その他
 - (1) 組織体制・財政基盤確立のための検討と取り組み
 - (2) ニュースレターの発行(年 3 回)
- 6 事業実施体制
 - (1)事務局
 - ・事務の処理、日常相談業務を実施する
 - ・開所時間:月・水曜日 10:00～18:00、金曜日 10:00～20:00、土・日曜日 9:00～17:00
 - (2)理事会
 - ・定例理事会は、毎年 2 回開催する。
 - (3)運営委員会
 - ・月に一回程度開催し、事務局から事業実施状況の報告を受け、検討事項を共有し協議する。
 - ・運営委員会は理事と運営委員で構成される。
 - (4)登録通訳者
 - (5)協力弁護士

2023 年度 NGO 神戸外国人救援ネット運営委員及び協力弁護士

理事	運営委員		協力弁護士
理事長	○	飛田 雄一 (神戸学生青年センター)	(順不同、敬称略)
副理事長	○	北村 広美 (多文化共生センターひょうご)	相原 健吾
	○	森木 和美 (Masayang Tahanan)	石田 真美
○	○	齋本 郁 (神戸の冬を支える会)	今西 雄介
	○	神田 裕 (たかとりコミュニティセンター)	清田 美夏
○	○	日比野 純一 (FMわいわい)	坂本 知可
	○	金 宣 吉 (神戸定住外国人支援センター)	佐藤 功行
○	○	フフデルゲル (神戸定住外国人支援センター)	鄭 聖 愛
	○	吉富 志津代 (ひょうごラテンコミュニティ)	仲尾 育哉
○	○	李 裕 美 (多言語センターFACIL)	野田 倫子
	○	村山 勇 (兵庫日本語ボランティアネットワーク)	野村 明弘
	○	寺下 賢志 (申請取次行政書士)	白 承 豪
○	○	木谷 公士郎 (カトリック社会活動神戸センター)	韓 検 治
○	○	鋤柄 利佳 (アジア女性自立プロジェクト)	平野 晃子
	○	斉藤 善久 (神戸移民連絡会)	福田 大祐
	○	鳥本 敏明 (日本ベトナム友好協会兵庫県連)	別所 美保
○	○	坂西 卓郎 (PHD協会)	北江 康親
	○	濱 宏子 (PHD協会)	増田 正幸
○	○	村西 優季 (NGO神戸外国人救援ネット事務局)	増田 祐一
監事		増田 祐一 (神戸合同法律事務所)	松本 隆行
			吉井 正明

主な事務局活動

* 毎週 (月・水・金・土・日) 事務局開所

* (金) 多言語生活相談ホットライン、(土・日) ひょうご多文化共生総合相談センター

2023 年 2 月～6 月

- 2月13日(月) 救援ネット理事会(オンライン)
- 2月14日(火) ひょうごボランティア基金助成事業報告会
- 2月22日(水) 救援ネット臨時理事会(オンライン)
- 3月8日、22日、24日 食料・日用品配布会@たかとり、御影、深江
- 3月13日(月) 救援ネット運営委員会(オンライン)
- 3月16日(木) 救援ネット主催 兵庫県 DV 防止出前講座「外国人 DV 被害者支援の現状」/後藤美樹さん
- 3月29日(水) 入管法改悪反対キャラバン IN 兵庫
- 4月10日(月) 救援ネット運営委員会
- 4月27日(木) ひょうごDV被害者支援連絡会議(HYVIS) 定例会・総会
- 5月3日(水) 草加道常さんの思い出を語る会
- 5月8日(月) 救援ネット運営委員会
- 5月29日(月) 救援ネット理事会(オンライン)
- 6月10日～11日(土・日) 移住連全国ワークショップ in 広島
- 6月19日(月) 救援ネット通常総会、理事会、運営委員会
- 毎月11日 ダイエー神戸三宮店「幸せの黄色いレシートキャンペーン」

事務局活動時間について

★事務局活動時間は以下のとおりです。★

事務局開所時間: 月・水曜日 10:00 ~ 18:00、金曜日 10:00 ~ 20:00、土・日曜日 9:00 ~ 17:00

生活相談ホットライン: 金曜日・・・英語、タガログ語、スペイン語 (10:00 ~ 20:00)、
ポルトガル語 (13:00 ~ 20:00)、中国語、ベトナム語、ロシア語 (事前予約制)